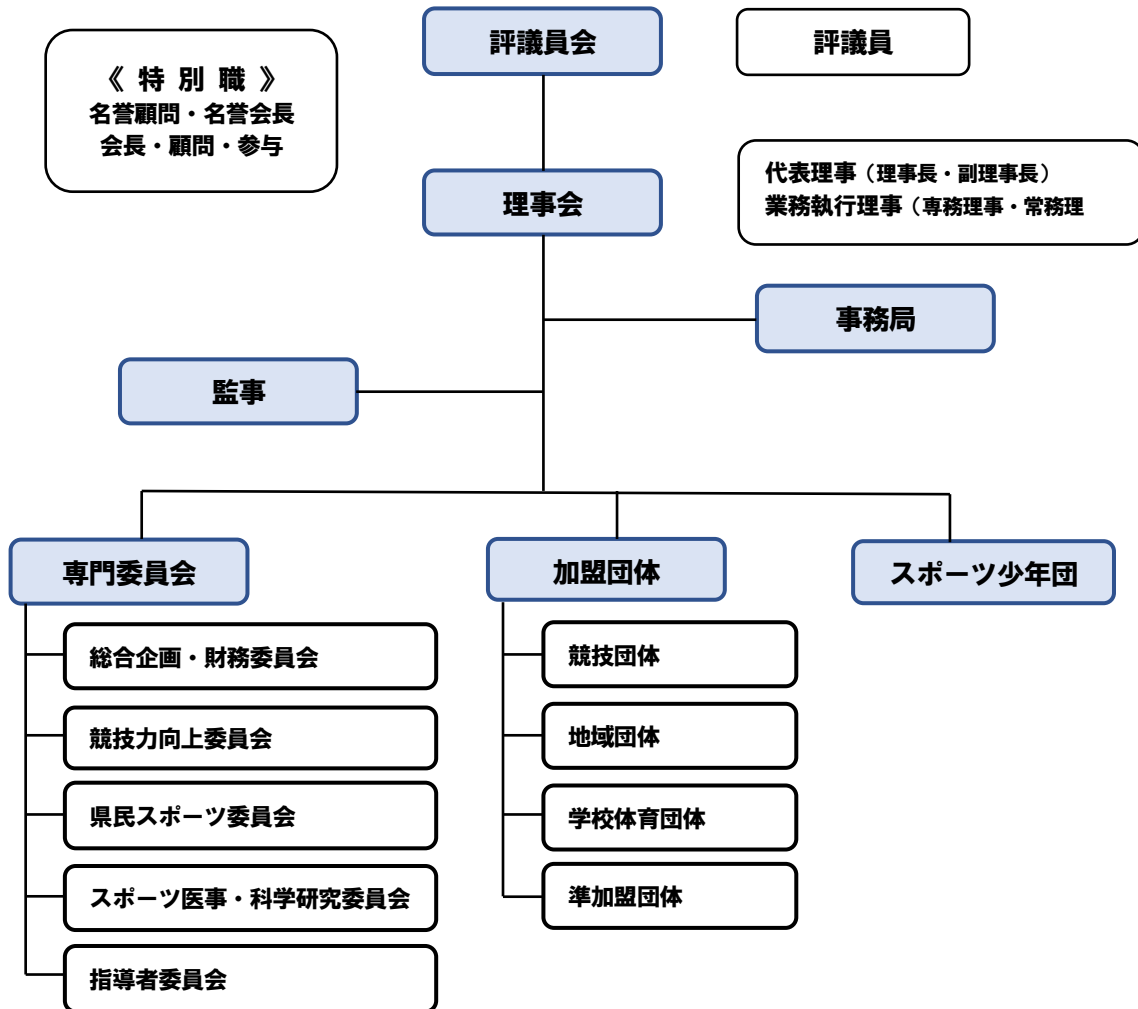


公益財団法人千葉県スポーツ協会  
スポーツ推進5カ年計画

令和5年3月24日

公益財団法人千葉県スポーツ協会

# 公益財団法人千葉県スポーツ協会



## 千葉県スポーツ協会内に事務局を置く団体

スポーツ指導者協議会事務局

都道府県体育・スポーツ協会連合会事務局

千葉県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会

はじめに

## 「新しい時代と課題に向けて」

令和3年度（2021）に東京2020オリンピック・パラリンピックが開催され、これを契機・レガシーとして更なるスポーツ振興が求められており、競技力の向上のみならず、スポーツ団体・指導者・アスリートのガバナンスやコンプライアンスの向上や女性アスリートの支援、スポーツ組織における女性役員の適正配置、生涯スポーツ・地域スポーツの一層の推進等の新しい課題を示した「第3期スポーツ基本計画（スポーツ庁）」が令和4年度に施行された。

千葉県でも「第13次千葉県体育・スポーツ推進計画（千葉県教育委員会）」が、令和4年3月に施行され、新しい時代のスポーツ振興に向けた取組が始まっている。

これを受け、公益財団法人千葉県スポーツ協会（以下「本会」という。）でも、組織・規程・事業等について、日本ならびに千葉県スポーツの推進の方向性を踏まえた見直し・改定ならびに、スポーツ安全協会委託事業の導入や総合型地域スポーツクラブ登録認証制度の開始、スポーツ少年団改革2022、運動部活動の地域移行への支援など様々な課題があり、関係機関・団体と連携を図り、より一層の千葉県スポーツの振興・発展を念頭に置いた課題の克服が必要とされている。

そこで、本会では、千葉県スポーツの推進の方向性を踏まえた新たな中期事業方針として令和5年度から令和9年度にわたる「公益財団法人千葉県スポーツ協会スポーツ推進5カ年計画」を策定した。

本計画では、加盟団体ならびに関係スポーツ団体も含めた健全な組織運営・活動や、それに伴う規程の見直し・改定と、事業・取組については関係機関との連携も含めた見直し・新設を行い、新しい時代のスポーツの推進を図るものとする。

本計画の実現にあたっては、本会加盟団体・関係スポーツ団体はもとより関係機関との連携・協力が必要不可欠であり、今後とも一層のご支援・ご協力をお願いする次第である。

## 目 次

第1章 「スポーツ推進5カ年計画」策定にあたって	
1 スポーツ界の課題	3頁
2 課題に向けた千葉県スポーツ協会の取組（事業）	4頁
3 千葉県スポーツ協会 事業一覧	5頁
第2章 今後の推進計画	
1 公益目的事業	
（1）競技会事業	6頁
① 県民体育大会事業	
② 県民体育大会第二部事業	
（2）生涯スポーツ事業	7頁
① スポーツ指導者養成事業	
② スポーツ顕彰事業	
③ 普及活動・広報事業	
④ スポーツ国際交流事業	
⑤ 競技力向上事業	
⑥ 共同主催及び後援事業	
⑦ 安全指導推進事業	
（3）青少年スポーツ育成事業	10頁
① 青少年スポーツ交流大会事業	
② 青少年スポーツ指導者育成事業	
③ ジュニアスポーツ指導者育成事業	
④ 普及・広報事業	
（4）その他の公益目的事業	12頁
2 収益事業	
（1）販売事業	12頁
（2）施設管理事業	
3 その他の事業	
（1）スポーツ団体ガバナンスコードに適合する組織運営	13頁
① 組織役員等の構成における多様性の確保（女性及び外部役員の登用）	
② 組織運営等に必要環境整備（規程・規約・事業等の見直し・整備）	
③ 加盟団体のガバナンスコード整備	
④ 役員・指導者のコンプライアンスの向上	
⑤ 加盟団体及び関係団体の情報提供や研修会等の支援	
⑥ スポーツ相談窓口の整備について	

# 第1章「スポーツ推進5カ年計画」策定にあたって

## 1 スポーツ界の課題

### (1) 組織経営力及びガバナンスの強化

- ①スポーツ・インテグリティの確保
  - ・ガバナンス強化及びコンプライアンスの徹底
- ②少子高齢化や団体構成年齢の2極化による担い手不足
- ③スポーツを通じた女性の活躍促進

### (2) 指導者養成

- ①「働き方」「生活様式」等のライフスタイルの変化
- ②人材の育成と活躍の場の確保
- ③指導者資格保有者の拡大

### (3) 生涯スポーツ・地域スポーツの推進

- ①官・民（スポーツ団体）連携による環境づくり
- ②県民のスポーツ実施率及び体力の向上
  - ・女性や子育て世代の実施率向上と支援を含む
- ③誰もが楽しめる「場づくり」の推進
  - ・スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブの活動推進など
- ④学校や地域における子供・若者のスポーツ機会の充実
  - ・運動部活動の地域移行への支援など
- ⑤医療、民間事業者、保険者との連携
  - ・生涯スポーツや地域スポーツにおける医科学サポート支援
  - ・保険加入の促進

### (4) 競技力の向上

- ①アスリート育成パスウェイ（発掘から強化まで）の整備
- ②医科学サポートの充実
  - ・サポート体制の整備及びAT（アスレティックトレーナー）の拡大
- ③フェアでクリーンな活動の徹底（ドーピング防止含む）
- ④女性アスリートの強化・支援
- ⑤国際交流の推進

### (5) スポーツ環境の整備

- ①官・民（スポーツ団体）連携による環境づくり
- ②スポーツ施設・設備の維持・充実
- ③IT化の推進
- ④安全対策・感染症対策

## 2 課題に向けた千葉県スポーツ協会の取組（事業）

### （1）組織経営力及びガバナンスの強化

□対応事業

- \* 公2 生涯スポーツ振興事業 ①一オ その他の指導者養成事業
- \* その他の事業 スポーツ団体ガバナンスコードに適合する組織運営

### （2）指導者養成

□対応事業

- \* 公2 生涯スポーツ振興事業 ①スポーツ指導者養成事業
- \* 公3 青少年スポーツ育成事業 ②青少年スポーツ指導者育成事業  
③ジュニアスポーツ指導者表彰事業

### （3）生涯スポーツ・地域スポーツの推進

□対応事業

- \* 公1 競技会事業 ①県民体育大会事業
- \* 公2 生涯スポーツ振興事業 ②スポーツ顕彰事業 ③普及活動・広報事業  
④スポーツ国際交流事業  
⑥共同主催及び後援事業
- \* 公3 青少年スポーツ育成事業 ①青少年スポーツ交流大会事業  
④普及・広報事業

### （4）競技力の向上

□対応事業

- \* 公1 競技会事業 ①県民体育大会事業 ②県民体育大会第二部事業
- \* 公2 生涯スポーツ振興事業 ①スポーツ指導者養成事業  
④スポーツ国際交流事業 ⑤競技力向上事業

### （5）スポーツ環境の整備

□対応事業

- \* 公2 生涯スポーツ振興事業 ⑦安全指導推進事業
- \* 収2 （2）施設管理事業

### ○財政確立

□対応事業 \* 収2 （1）販売事業

### 3 千葉県スポーツ協会 事業一覧

#### 1 公益目的事業

(1) 競技会事業	
① 県民体育大会事業	県民体育大会開催
② 県民体育大会第二部事業	県民体育大会第二部開催
(2) 生涯スポーツ事業	
① スポーツ指導者養成事業	ア コーチ1・コーチ2等養成講習会
	イ 千葉県スポーツ指導者研修会
	ウ チームちば スポーツフォーラム
	エ ドーピング防止講習会
	オ その他の指導者養成事業
② スポーツ顕彰事業	ア 優秀選手・奨励賞選手表彰
	イ 公認スポーツ指導者表彰
	ウ スポーツ協会功労者表彰
③ 普及活動・広報事業	ア 体協懇親ゴルフ大会
	イ 広報誌の発刊及びホームページの充実
	ウ 総合型地域スポーツクラブ育成推進事業
④ スポーツ国際交流事業	
⑤ 競技力向上事業	ア マルチコンディショニングサポート事業
	イ 国体選手選考・派遣事業
	ウ 競技用具等整備事業
	エ 国民体育大会参加者傷害補償制度加入
⑥ 共同主催及び後援事業	共催・後援
⑦ 安全指導推進事業	
(3) 青少年スポーツ育成事業	
① 青少年スポーツ交流大会事業	ア 県種目別交流大会
	イ リーダー養成・交歓交流事業
	ウ 日独スポーツ少年団同時交流事業
② 青少年スポーツ指導者育成事業	ア スタートコーチインストラクター移行研修会・養成講習会
	イ スタートコーチ養成講習会
	ウ 母集団研修会
	エ 千葉県スポーツ少年団指導者研修会
	オ その他の指導者育成事業
③ ジュニアスポーツ指導者表彰事業	ア 千葉県スポーツ少年団顕彰
	イ 日本スポーツ少年団顕彰
④ 普及・広報事業	ア 地域交流活動事業
	イ 運動適性テストⅡ
	ウ 機関誌の発刊
(4) その他の公益目的事業	ア 創立80周年記念事業(予定)

#### 2 収益事業

(1) 販売事業	ア 体協ポロシャツ
	イ 体協ネクタイ・スカーフ
(2) 施設管理事業	ア 千葉県総合スポーツセンター指定管理者

#### 3 その他の事業

(1) スポーツ団体ガバナンスコードに適合する組織運営	ア 自己説明の公表
	イ 役員・加盟団体研修会
	ウ スポーツ問題相談窓口

## 第2章 今後の推進計画

### 1 公益目的事業

#### (1) 競技会事業

広く県民の間にスポーツを普及し、県民の健康増進と体力の向上を図り、併せて県内地域スポーツの振興と地域文化の発展に寄与するとともに、県民生活を明るく豊かにするために、県民体育大会（郡市対抗として、40 競技[正式競技 39 競技・公開競技 1 競技]を開催）及びスポーツイベント事業（10 競技会場）と、県民体育大会第二部（国民体育大会千葉県予選会正式 40 競技）を開催。また、開催にあたり加盟団体に、安全なスポーツ活動に関する指導と保険加入の促進を行い、県民体育大会及び第二部に参加（郡市予選含む）する全団体の安全確保の推進を図る。

#### □ 現状と課題及び今後の目標・方向性

##### ① 県民体育大会事業

###### ■現状と課題

- ・県補助金等減少と経費増加による実施競技団体負担増加、それに伴う参加費徴収拡大
- ・参加者数の減少
  - 平成29年 第67回大会 9,254人
  - 平成30年 第68回大会 9,219人
  - 令和 元年 第69回大会 7,615人（9・10月の2回の台風被害）
  - 令和 2年 第70回大会 中止（コロナ感染拡大防止のため）
  - 令和 3年 第71回大会 中止（コロナ感染拡大防止のため）
  - 令和 4年 第72回大会 6,550人（サッカー及び冬季大会中止）
- ・資格審査の徹底
- ・イベント事業の見直し H29：12 競技、H30：11 競技、R1：11 競技、R4：8 競技

###### ■今後の目標・方向性

- ・県補助金等の増額要請。
- ・参加者数の復元 目標1万人参加  
県民スポーツ委員会で検討・取組を進め、加盟団体を連携協力のもと参加者拡大を図る。
- ・参加申込業務の効率化と、参加資格確認体制の強化。  
Web 申込による効率化の促進と、郡市・競技団体の連携強化による資格審査精度の向上。
- ・イベント内容の見直しと拡大促進。  
少子高齢化を踏まえ、各競技の普及促進に向けた各イベント事業内容の見直しを図る。

##### ② 県民体育大会第二部

###### ■現状と課題

- ・選手選考方法の公表の徹底（手順・基準等）

###### ■今後の目標・方向性

- ・県競技力向上推進本部と連携を図り、選手選考の公平性・透明性を向上させる。



## (2) 生涯スポーツ事業

### ① スポーツ指導者養成事業

#### ア コーチ1・コーチ2等養成講習会(競技別指導者養成)

地域のスポーツクラブやスポーツ教室などにおいて、参加者の年齢や性別等の対象に合わせた競技別の技術指導等や、クラブ内の事業計画の立案など指導者の中心的な役割を担う者を養成。

#### イ 千葉県スポーツ指導者研修会

(公財)日本スポーツ協会公認スポーツ指導者の資格更新だけでなく、県内スポーツ指導者を対象に資質向上と活動の促進を図るために実施する。なお、暴力をはじめとした反倫理的行為の根絶を中心とした研修内容や女性アスリート支援の研修内容を加えて実施する。

#### ウ チームちば スポーツフォーラム

県内の医科学サポートスタッフ相互連携の充実と資質向上を図るとともに、競技団体と医科学サポートスタッフとの連携の充実を図ることを目的として実施する。

#### エ ドーピング防止講習会

国体選手を中心としたドーピング防止教育・啓発活動を実施する

#### オ その他の指導者養成事業

県内スポーツ指導者・団体関係者を対象に、ガバナンス及び資質向上の促進のための研修会等。

### ② スポーツ顕彰事業

表彰規程等に基づき、本県のスポーツの振興のため功績の顕著な個人又は団体を表彰する。  
優秀選手・奨励賞選手表彰、公認スポーツ指導者表彰、スポーツ協会功労者表彰

### ③ 普及活動・広報事業

#### ア 体協懇親ゴルフ大会(体協ゴルフの集い)

生涯スポーツの推進と心身の健康の保持・増進を図るために2回開催する。

#### イ 広報誌の発刊及びホームページの充実

#### ウ 総合型地域スポーツクラブ育成推進事業

広域スポーツセンターとの連携・協力のもと、県総合型地域スポーツクラブ推進を図る。  
また、クラブアドバイザーを配置し、クラブの設立に向けた事業を支援する。

### ④ スポーツ国際交流事業(日韓・日中・日露スポーツ交流)

スポーツを通じて両国(日韓・日中・日露)の親善と友好をより一層深めるとともに、地域レベルにおけるスポーツ交流を実施する。

### ⑤ 競技力向上事業

#### ア マルチコンディショニングサポート事業

日常的強化活動をスポーツ医・科学的側面からサポートし、選手・指導者の健康管理能力や競技力の向上を図ることを目的として県競技力向上本部委託事業として実施する。

#### イ 国体選手選考・派遣事業

国民体育大会実施要項に基づいて優秀な選手団を選考するとともに、帯同ドクター・トレーナーを派遣する。

#### ウ 競技用具等整備事業

競技力向上を図ることを目的として、強化事業及び国体選手選考に必要な競技用具等の整備を県競技力向上推進本部委託事業として実施する。

#### エ 国民体育大会参加者傷害補償制度加入

### ⑥ 共同主催及び後援事業

本協会以外の関係機関・団体が行うスポーツ関係事業に対し「行事の共催及び後援に関する規程」に定めた要件を満たした場合、事業の共催及び後援を行い、スポーツ精神の高揚と県民スポーツの振興に寄与する。

### ⑦ 安全指導推進事業

関係するスポーツ団体・指導者への安全指導(講習等)と保険加入促進を行う。

## □ 現状と課題及び今後の目標・方向性

### ① スポーツ指導者養成事業

#### ■ 現状と課題

- ・ コーチ養成講習会委託事業の実施競技の偏り  
他競技との連携のあり方。(NF や県競技団体の指導者養成計画もあることから)  
近年の実施競技 卓球、バドミントン、スポーツクライミング、バレーボール、ソフトボール、  
なぎなた、弓道 など
- ・ 千葉県スポーツ指導者研修会参加者の拡大  
県内資格保有者の多くが本研修会以外で資格更新研修を受けている。  
本研修に、より多くの指導者に参加してもらえるよう研修内容の工夫等をしていく必要がある。  
現資格保有者数 7, 006名 研修会参加者数 約400名(コロナ前)
- ・ チームちばスポーツフォーラム及びドーピング防止講習会  
国・県の施策からも、各競技団体関係者の参加を拡大させる必要がある。  
参加者数 スポーツフォーラム 約70名 ドーピング防止講習会 約50名

#### ■ 今後の目標・方向性

- ・ コーチ養成講習会委託事業の実施競技拡大に向けた働きかけの強化。  
例年、特定の競技での開催に偏っているため他競技の協力依頼の働きかけを強化する。
- ・ 千葉県スポーツ指導者研修会の研修内容の見直し・工夫による充実。
- ・ チームちばスポーツフォーラム及びドーピング防止講習会の参加者拡大に向けた取組の推進。  
県競技力向上推進本部との連携により、各競技団体関係者の参加を拡大。

### ② スポーツ顕彰事業

#### ■ 現状と課題

- ・ 功労章の推薦のない団体への丁寧な説明。
- ・ スポーツ指導者表彰  
選考の基準にしている「県スポーツ指導者協議会会員であること」が各団体からの推薦に大きく影響している(指導者協議会会員は現在 900 名弱)。

#### ■ 今後の目標・方向性

- ・ 功労章の推薦団体拡大に向けた取組の推進。  
各団体にわかりやすく丁寧な説明と、計画性のある推薦の啓発
- ・ 公認スポーツ指導者表彰の基準の見直し・検討。

### ③ 普及活動・広報事業

#### ■ 現状と課題

- ・ 体協懇親ゴルフ大会の参加者減にともなう在り方の見直し
- ・ 広報誌やホームページのより効果的な活用
- ・ 総合型地域スポーツクラブ育成推進事業  
新たな設立が難しい状況であるとともに、現行のクラブの継続的・安定的運営も大きな課題である。クラブアドバイザーの配置支援が必要である。  
現クラブ数 88団体、R4 登録・認証制度の登録クラブ数 10団体

## ■今後の目標・方向性

- ・今後の体協懇親ゴルフ大会の在り方について
- ・ホームページの運用は、更に効果的な情報発信・収受に向けた方策を検討。
- ・クラブアドバイザー配置による未育成市町村への普及活動及び設立済クラブ及び継続的・安定的運営に向けた指導の充実。
- ・千葉県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会の加盟増加及び「登録・認証制度」の登録クラブ拡大に向けた取組の推進。
- ・広域スポーツセンターとの連携強化により、千葉県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会の加盟クラブ数を増やす。

## ④ スポーツ国際交流事業

### ■今後の目標・方向性

- ・コロナ感染症の収束や国際情勢等を踏まえ検討・実施する。

## ⑤ 競技力向上事業

### ■現状と課題

- ・医科学サポートの更なる充実  
AT(アスレティックトレーナー)派遣の拡大、ドーピング防止教育、女性アスリートの強化支援など
- ・国、県の施策による新たな取組課題  
運動部活動の地域移行、女性アスリートの強化支援など
- ・国体連続入賞を目指した強化事業及び選手選考
- ・競技用具等の整備

### ■今後の目標・方向性

- ・新たな課題に向けたマルチコンディショニングサポート事業の推進。  
医科学サポートスタッフの派遣を推進するとともに、ドーピング防止教育や女性アスリート強化・支援に係る講習・研修・相談会等の充実。
- ・国民体育（スポーツ）大会の連続入賞継続。  
引き続き、県競技力向上推進本部と連携を強化し、強化事業及び優秀な選手団の選考により競技力向上を図る。
- ・効果的な競技用具等整備の推進。
- ・円滑な運動部活動の地域移行への関係機関・関係団体と連携した支援・協力。
- ・国民体育（スポーツ）大会傷害補償制度における保険加入の徹底。  
※令和6年度より「国民体育大会」は「国民スポーツ大会」に改称。

## ⑥ 共同主催及び後援事業

### ■今後の目標・方向性

- ・引き続き、共催・後援を充実させ、スポーツ振興の寄与を図る。

## ⑦ 安全指導推進事業

### ■今後の目標・方向性（令和5年度よりスポーツ安全協会の委託業務開始）

- ・幅広く本協会事業等における安全指導推進による、スポーツ安全環境の充実
- ・各講習会・研修会・派遣事業・強化事業等における安全指導の充実。
- ・スポーツ活動における保険加入の促進。

### (3) 青少年スポーツ育成事業

スポーツ少年団の普及と育成指導に努め、その活動の活性化を図り、青少年にスポーツを振興し心身の健全な発達に資するための事業を推進する。

#### ① 青少年スポーツ交流大会事業

##### ア 県種目別交流大会

市町村の代表選手(チーム)による、12種目の競技を通じてスポーツの喜びを体験し、スポーツを愛し楽しみながら団員相互の調和と親睦を深める、併せて競技の普及を目的とする。

##### イ リーダー養成・交歓交流事業

「ジュニア・リーダースクール」を開催し、地域の少年団活動の活発化と単位団及び地域の将来における後継者の養成を目指している。また、全国・関東大会への派遣を行う。

##### ウ 日独スポーツ少年団同時交流事業

「日独スポーツ少年団国際交流協定書」に基づいた同時交流形式による交流事業。

#### ② 青少年スポーツ指導者育成事業

##### ア スタートコーチ(スポーツ少年団)インストラクター移行研修会・養成講習会

スタートコーチ(スポーツ少年団)養成講習会の講師を務めるインストラクターの養成。

##### イ スタートコーチ(スポーツ少年団)養成講習会

地域・市区町村においてスポーツ少年団の育成・指導にあたるスタートコーチ(スポーツ少年団)の養成講習会。

##### ウ 母集団研修会

県内の各市町村単位で育成母集団の活動への意識と理解を高めることを目的として実施。

##### エ 千葉県スポーツ少年団指導者研修会

千葉県スポーツ少年団登録指導者の定期的な研修会、スポーツに関する最新の知識・情報を獲得することと、指導者間の情報交換やネットワークづくりを目的とする。

##### オ その他の指導者育成事業

ジュニアスポーツ指導に直接従事している登録指導者のジュニアスポーツフォーラム派遣。また、関東ブロックスポーツ少年団指導者研究協議会へ指導者を派遣する。

#### ③ ジュニアスポーツ指導者表彰事業

##### ア 千葉県スポーツ少年団顕彰

##### イ 日本スポーツ少年団顕彰

永年にわたりスポーツ少年団の発展に貢献し、特に顕著な功績のあった市町村スポーツ少年団、スポーツ少年団登録指導者及び役員を退任した指導者等を表彰及び推薦。

#### ④ 普及・広報事業

##### ア 地域交流活動事業

日本スポーツ少年団登録指導者及び登録団員、母集団を参加対象とし、スポーツ・レクリエーション活動を通じスポーツ少年団活動の活性化と地域交流の促進を図ることを目的に地域交流大会と、各市町村スポーツ少年団の組織の充実と活性化に向けて、地区会議を実施する。

##### イ 運動適性テストⅡ

地域におけるスポーツ少年団の活性化と、運動能力・体力の現状把握。

##### ウ 機関誌の発刊

機関誌「スポーツ少年ちば」の発刊。

## □ 現状と課題及び今後の目標・方向性

### スポーツ少年団の課題

- ・団員の減少と単位スポーツ少年団の減少
- ・市町村スポーツ少年団単位での活動の充実
- ・スポーツ少年団の認知度低下
- ・単位スポーツ少年団内のガバナンス向上
- ・スポーツ少年団関係の規程の見直し
- ・指導者の確保と資質向上及び役員の世代交代
- ・スポーツ少年団に関わる人の負担増
- ・学校運動部活動の地域移行の受け皿としての対応
- ・予算配分の見直し（補助金事業の見直し）及び活動場所の確保
- ・スポーツ少年団改革2022の推進

### ① 青少年スポーツ交流大会

#### ■今後の目標・方向性

- ・より多くのスポーツ少年団登録者が参加できるよう事業の見直し・検討を進める。
- ・勝利至上主義に偏らない交流大会としての役割を果たす取組を推進する。
- ・地域単位での交流事業の拡大に向けた取組を進める。

### ② 青少年スポーツ指導者育成事業

#### ■今後の目標・方向性

- ・日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格保有の登録者拡大を図る。
- ・登録指導者に対する充実した研修機会の確保のための取組を推進する。
- ・団運営についてのガバナンス向上に向けた取組を推進する。

### ③ ジュニアスポーツ指導者表彰事業

#### ■今後の目標・方向性

- ・顕彰事業の充実、認知度向上のため、取組の工夫・見直しを図る。

### ④ 普及・広報事業

#### ■今後の目標・方向性

- ・地域社会でのスポーツ少年団活動の認知度向上のため、取組の工夫・見直しを図る。
- ・関係機関・団体等（県行政・県教育委員会等）との連携強化を図る。
- ・幼児期、中高生団員の増加及び現団員の登録継続のための取組の推進。
- ・各単位スポーツ少年団や各市町村スポーツ少年団の組織間連携の強化を図る。
- ・表彰事業の充実

## (4) その他の公益目的事業（公益共通）

### ① 創立80周年記念事業（令和9年度の検討・準備）

- 今後の目標・方向性（令和5年度よりスポーツ安全協会の委託業務開始）
  - ・実施及び内容の検討。
  - ・準備計画及び予算計画（積立等）の検討。

## 2 収益事業

### (1) 販売事業

自主財源を確保するため「体協ポロシャツ」を販売する。加盟団体や関係機関・団体をはじめ、本協会事業に参加する方に広く紹介し、ホームページでも協力を募る。ポロシャツは、国民体育大会千葉県選手団サブユニフォームとしても活用する。

#### □ 現状と課題及び今後の目標・方向性

##### ① 「体協ポロシャツ」販売数減少と在庫処理

###### ■現状と課題

- ・国民体育大会の中止やコロナ禍の影響もあり、販売数減少にともない在庫数が増加、今後、国際情勢の影響により値上がりも想定される。

販売数	令和元年度： 2075枚
	令和2年度： 820枚
	令和3年度： 1007枚
	令和4年度 約1300枚（11月時点）
- ・国際情勢の影響により、原価の値上がりが必要の状況であり、今後の対応を早急に検討しなければならない。（ポロシャツそのものの見直し及び業者の見直し）

###### ■今後の目標・方向性

- ・販売案内時期・対象の見直し（現在は本国体出場選手団決定次期に販売案内）
- ・品質・価格・デザイン等の見直しが必要
- ・販売数増加のため、加盟団体・関係団体・ホームページ以外の広報拡大が必要。現広報以外の手段の検討（SNS・チラシ等）と案内対象の拡大
- ・現業者との取引が10年を超えたこともあるので取扱い業者を検討する。申込～納品までの行程の効率化や業者の対応状況等を含め検討。

##### ② 新たな収益事業の検討

###### ■現状と課題

- ・今後も物価の高騰が想定される中、継続的・安定的に収益が見込めるものを検討し、財源確保に取り組まなければならない。

###### ■今後の目標・方向性

- ・他県や他団体の状況も参考に、継続的・安定的な新たな収益事業の構築を図る。



## (2) 施設管理事業

平成20年6月、「千葉県総合スポーツセンターの管理等に関する条例」が可決され、「民間等の効果的運営により、多様化する県民ニーズに対応したサービスの向上と、より一層のスポーツの振興を図る。民間等の経営手法により、効率的な施設運営と管理運営費の削減を図る」の理由により、指定管理制度が導入されることとなった。

平成21年4月より指定管理制度導入が開始され、本協会と一般財団法人千葉県まちづくり公社とのグループを構成し指定管理者に応募、平成21年度より5年間指定管理者の指定を受託、以後、受託を継続している。

新公共経営（成果の効率的な実現）の考えや公民協働（民間との協働）の理念の下、「千葉県総合スポーツセンター」の公平な利用の確保と施設設備の適正な維持管理はもとより、トレーニング・測定事業による県民の体力向上と健康増進、「スポーツの日」・「県民の日」の開放事業の他、多彩な自主事業の実施によりスポーツ振興を図る。

### □ 現状と課題及び今後の目標・方向性

#### ① 指定管理者受託の継続

##### ■現状と課題

- ・第4期（令和6年度～令和10年度）及び以降の受託の継続。

##### ■今後の目標・方向性

- ・第4期（令和6年度～）の受託に向けて（一財）千葉県まちづくり公社との連携・協力体制を強化する。
- ・第4期（令和6年度～）の受託に向けて、令和5年度に受託の準備を進める。
- ・第4期が受託した場合は、令和10年度に第5期の受託を目指し準備を進める。

第1期 平成21年度 ～ 平成25年度 受託

第2期 平成26年度 ～ 平成30年度 受託

第3期 令和元年度 ～ 令和5年度 受託

※ 第4期 令和6年度 ～ 令和10年度

※ 第5期 令和11年度 ～ 令和15年度

#### ②（一財）千葉県まちづくり公社との連携公益事業の拡大（管理業務以外）

##### ■今後の目標・方向性

- ・（一財）千葉県まちづくり公社との連携・協力体制強化
- ・事業内容の精査と公益目的事業への組換えの検討

### 3 その他の事業

#### (1) スポーツ団体ガバナンスコードに適合する組織運営

スポーツ庁が定める「スポーツ団体ガバナンスコード」の整備を行い、健全な組織運営を進めるとともにその取り組み状況を適切に公開する。また必要に応じて組織・事業や規程等の見直し・改訂を行うとともに役員ならびに加盟団体等においても研修を重ね、組織運営における適切なガバナンスの確保を図る。

#### □ 現状と課題及び今後の目標・方向性

##### ① 組織役員等の構成における多様性の確保（女性及び外部役員に登用）

###### ■ 今後の目標・方向性

- ・計画的・段階的に組織構成の多様性確保を図る。  
令和6年度、令和8年度の役員改選時に段階的に女性及び外部役員の積極的登用を図る。

##### ② 組織運営等に必要環境整備（規程・規約・事業等の見直し・整備）

###### ■ 今後の目標・方向性

- ・規程、規約等の見直し・整備。  
規程等は令和3年度より見直し・改訂を進めており、今後も必要に応じて整備を進める。
- ・事業の見直しならびに、時代に即した公益事業の充実・拡大。

##### ③ 加盟団体のガバナンスコード整備

###### ■ 今後の目標・方向性

- ・ガバナンスコード（一般団体向け）の整備依頼。

##### ④ 役員・指導者のコンプライアンスの向上

###### ■ 今後の目標・方向性

- ・研修会や講習会の充実及びあらゆる機会での啓発活動。

##### ⑤ 加盟団体及び関係団体の情報提供や研修会等の支援

###### ■ 今後の目標・方向性

- ・情報交換会や連絡会議の開催。
- ・加盟団体へのWeb会議整備の働きかけ。

##### ⑥ スポーツ問題相談窓口の整備について

###### ■ 今後の目標・方向性

- ・弁護士等の専門家の協力のもと、関係機関や関係団との関連性や連携も含めた体制整備。



## ○参考文献等

- \* 第3期「スポーツ基本計画」スポーツ庁
- \* 「JSPO 中期計画 2023-2027 中間まとめ」(公財) 日本スポーツ協会
- \* 第13次「千葉県体育・スポーツ推進計画」千葉県教育委員会
- \* 「スポーツ団体ガバナンスコード」スポーツ庁、(公財) 日本スポーツ協会
- \* 「スポーツ少年団改革プラン 2022」日本スポーツ少年団
- \* 令和4年度「千葉県競技力向上推進本部概要」千葉県競技力向上推進本部